

過去最少167万トン

日合協東北 上期アス製造量

日本アスファルト合材協会
東北連合会(野口典秀会長)
は、会員企業の2025年度
上期(4-9月末)アスファル
ト合材製造数量をまとめた。

新規合材は49万3000トンと
前年同期に比べて19・4%減
と大幅なマイナスになった。
再生合材は同1・6%減の1
17万9000トンで、合計は

2025年度上期(4-9月) アスファルト合材製造数量		
	合材	25年4月-9月
青森	新規	72 (△40.2)
	再生	168 (△4.9)
	小計	240 (△19.1)
岩手	新規	84 (△9.3)
	再生	183 (△13.0)
	小計	267 (△4.9)
宮城	新規	104 (△18.5)
	再生	227 (△8.5)
	小計	331 (△11.9)
秋田	新規	45 (△21.1)
	再生	192 (△9.1)
	小計	237 (△1.7)
山形	新規	65 (△1.9)
	再生	129 (△11.6)
	小計	194 (△8.6)
福島	新規	123 (△17.0)
	再生	280 (△3.2)
	小計	403 (△7.9)
東北全体	新規	493 (△19.4)
	再生	1,179 (△1.6)
	合計	1,672 (△7.6)

単位：千トン、カッコ内は前年同期比(%)

7・6%減の167万2000トンとなり、1980年の統計開始以来、最も少なかった。岩手と秋田を除き、青森が約2割、宮城と山形、福島が約1割落ち込んだ。

製造数量の合計を県別に見ると、青森県はNEXCO修繕工事の大幅な減少を受けた東青地区が前年同期比42%減、三八地区は23%減で、津軽地区も風力発電工事の反動減で20%減と大きく落ち込んだ。

岩手県は、近年続いた減少の反動で宮古・釜石・遠野地区が17%増となったほか、県央・県北地区は3%増、花北・胆磐地区は4%増だった。宮城県は、仙台地区が3%増となったが、石巻・気仙沼

地区が港湾修繕工事などの減少で36%減、県北はNEXCO修繕工事の減少で27%の減少だった。

秋田県は、鹿角・北秋田・山本地区が大型民間工事の需要があり、34%増と大きく伸びた。仙北・平鹿・雄勝地区も高規格道路関連で出荷数が増えて20%増となっている。秋田・由利地区は21%減となった。山形県は、「大口の市発注案件が少なかった」とする最上・村山地区が10%減、置賜地区も18%減り、庄内地区は1%増と前年並みだった。

福島県は、道路関連の発注が相次いだ県北地区が9%増となった以外は、県中地区が10%減、会津地区で11%減、浜通り地区は14%減となった。

